

私たちの食べる農作物にすでにたくさん使用されている浸透性農薬ネオニコチノイド——。従来の殺虫剤に比べてヒトに対する安全性が高いと謳われてきたが、急速に普及が進んだ結果、自然環境を広範に汚染し、生態系に大きな影響を及ぼしている。さらに近年、ヒトを含む哺乳類に対する健康影響についても研究が進み、その安全性に疑問が呈されている。多くの「いのち」と、子どもたちの未来を守るために、私たちに問われている選択とは??

静かな汚染、 ネオニコチノイド



浸透性農薬は「いのち」に何をもたらすのか?

【監修】苅部 治紀(神奈川県立 生命の星・地球博物館) / 平 久美子(国際自然保護連合 浸透性殺虫剤タスクフォース公衆衛生グループ座長)

【監督】山口 勝則 【企画・協力】一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト(abt) 【制作】特定非営利活動法人アジア太平洋資料センター(PARC)

2022年 / DVDまたはオンラインでストリーミング視聴 / カラー 40分

地球環境にもヒトの体内にも 静かに忍び寄る合成化学物質。 私たちの選択に未来がかかっている。

植物の根や葉から組織全体へと浸透移行して作物を害虫から長く守るとされる浸透性農薬《ネオニコチノイド》。1990年代以降、主流の殺虫剤として、日本国内でもさまざまな作物の栽培に用いられています。

しかし、その普及から約30年、当初想定されていなかった多くの問題が指摘されています。

水に溶けやすい性質を持つネオニコチノイドは、ひとたび使用されると、容易に河川や地下水に移行します。そして、農業その他の用途で使用が広がった結果、日本でも「もはや検出されない河川を見つけることが難しい」と言われるほどに水系汚染が進み、生態系の崩壊を加速させているのです。

さらに、近年の研究で懸念されているのが、その人体への安全性です。昆虫の神経に対して強く結合する「選択性」を持つことから、「ヒトには比較的安全」と言られてきましたが、ヒトを含む哺乳類の神経伝達や成長途上の神経の発達にも影響を及ぼすことが解明され始めているのです。

静かに目に見えないかたちで生態系にも人体にも忍び寄る浸透性農薬。その脅威から未来を守るために、私たちに何が問われているのか。最新の知見をもとに考えます。

作品ハイライト



多種多様な水生昆虫が暮らす溜池。かつては日本各地に見られた光景であったが、いまではこうした光景は全国でも珍しいものとなっている。世界規模で進む昆虫の減少の要因の一つとして指摘されるのが、1990年代から普及した殺虫剤《ネオニコチノイド》である。



水に溶けやすく、植物の根や葉から吸収されて組織全体に移行するネオニコチノイド。ひとたび使用されると、容易に河川や地下水に到達し、広範囲の自然環境を汚染する。その被害は標的的以外の生きものに及び、予期されていなかった形で生態系に影響を及ぼしている。



神経毒であるネオニコチノイド。昆虫の神経に対してとりわけ効力を発揮し、従来の殺虫剤に比べて哺乳類に対する安全性が高い、と謳われた。だが、神戸大学の星信彦教授は動物実験から、ネオニコチノイドの摂取は哺乳類の行動や感情にも影響を及ぼす、と指摘する。



植物の組織に移行する浸透性農薬は、栽培に用いられれば可食部にも残して、私たちの口に入る。医師の平久美子さんは、ほとんどの日本人の尿からネオニコチノイドが検出され、母子移行によって新生児の尿からも検出される、と指摘。ヒトへの健康影響に警鐘を鳴らす。



私たちの食べる農作物の生産に用いられる農薬。だが、合成化学物質に頼らない有機農業の取り組みも進んでいる。私たちが何を食べるか、という選択が、未来に豊かな生態系を残していくか、子どもたちにとって安全な地域環境を作れるか、という課題につながっている。

2022年
9月
発売



静かな汚染、 ネオニコチノイド

浸透性農薬は〈いのち〉に何をもたらすのか？

2022年／DVDまたはオンラインでストリーミング視聴／
カラー40分／解説資料集付き

一般価格 2,000円+税

図書館価格:15,000円+税

上映会を開きませんか？

全国各地での上映会開催を呼びかけています。
地域やグループでぜひ企画ください。

- 事前にDVDをご購入ください
- DVD代金と別に、上映料(1回1万円+税)×上映回数がかかります。
- 詳しくはPARCのウェブサイトをご覧ください。
- オンライン上映会をご希望の方は事務局にご相談ください。

DVDのご購入・上映会開催申込み・お問い合わせは